

序

農業生産は、耕地に種子を播くことから始まる。そのための優良な種子を開発し、提供することが、最も基本的な農業技術の一つである。

北海道の開拓に当たり、明治政府は、気象条件が類似した欧米の畑作物の輪作と有畜農業を模範とし、多くの農作物・家畜の種苗や種畜を導入し、適応性の確認、増殖し、農家へ配布して、畑作と畜産の基礎を築いた。一方、開拓当初、作付けを禁じられた水稻は、本州から移住した先達・篤農家の熱心な努力と工夫により、品種と栽培法の改良が重ねられ、自給米の生産が行われるようになった。

このように、北海道の農業技術開発は、本道の開拓や農業とともに歩み、時代背景や社会的状況を反映して、生産された作物、作目に変遷があり、また、それぞれに求められた特性にも大きな変化があったものの、その根幹には、時々の先端的科学的知見と技術を取り入れた優良品種の開発とその速やかな普及を目指した官民を挙げた種苗増殖などの弛まぬ取り組みがあり、今日、日本の食料供給地域と呼ばれる北海道農業の発展に貢献してきたと言えるのであろう。

農業試験場では、連綿として改良が続けられてきた新品種について、道内の公的研究機関育成、国内外の民間育成にかかわらず、北海道で普及すべきと評価された優良品種の特性などを解説し、農業試験場資料として、戦前のものを含め、8～20年おきに7回刊行してきた。今回は2005（平成17）年から2013（平成25）年までの9年間に、北海道が認定し、普及が見込まれた29作物127の優良品種について、来歴、特性などを解説した。

この間、農業を取り巻く状況として、米、麦などの主要農作物の市場での取引と価格決定への制度移行、政権交代に伴う農業所得政策の改革や再見直し、主要な農産物輸出国における遺伝子組換え作物の作付け拡大や異常気象等による穀物の不作に伴う価格高騰と禁輸など食料の安全確保への懸念があり、研究開発では、70年以上の長きに渡り、我が国の品種改良の根幹であった指定試験事業の廃止と競争的試験への移行があり、研究予算の長期安定的確保が困難になりつつある。

しかし、今後とも、農業技術としての優良品種の重要性は変わらないし、品種開発は最優先で取り組む必要がある。

今回の刊行のため、原稿執筆と編集を担当した各位に敬意を表するとともに、本資料が、農業生産現場に大いに活用され、本道農業の発展に寄与することを期待するものである。

平成26年3月

北海道立総合研究機構農業研究本部長兼中央農業試験場長 品 田 裕 二

はじめに

1. 掲載した品種は、2005（平成17）年から2013（平成25）年の9年間に、北海道農業試験会議（成績会議）の検討を経て、北海道農作物優良品種認定委員会で優良品種に決定された全品種をとりあげた。

その作物別の品種数は次のとおりである。

普通作物	37品種
特用作物	14品種
果樹	3品種
野菜	15品種
花き	5品種
飼料作物	53品種
合計	127品種

2. 付表の北海道登録品種一覧には、1985（昭和60）年に定められた北海道作物優良品種認定要領によって、登録簿に登録済みの全品種をとりあげた。

3. 記載内容は、北海道農業試験会議で検討された資料に基づいているが、その後に変更または追加されたことが明らかにされているものは、それに従って書き改めた。

4. 各作物担当者が執筆し、以下のメンバーによる編集委員会で校閲・編集した。

編集長：農業研究本部	企画調整部長
委員：中央農業試験場	作物開発部長（水稲、畑作物、果樹）
花・野菜技術センター	研究部長（花き、野菜）
畜産試験場	基盤研究部長（飼料作物）
中央農業試験場	遺伝資源部長（種苗）
事務局：農業研究本部	企画調整部 企画課

執筆者一覧

水稻：中央農業試験場 生産研究部 水田農業G 尾崎洋人，上川農業試験場 研究部 水稻G 平山裕治，同 前川利彦，同 木内均，同 佐藤博一

小麦：北見農業試験場 研究部 麦類G 大西志全，同 佐藤三佳子，同 来嶋正朋，同 粕谷雅志，同 足利奈奈

大豆：中央農業試験場 作物開発部 作物G 藤田正平，同 鴻坂扶美子，十勝農業試験場 研究部 豆類G 三好智明

小豆：十勝農業試験場 研究部 豆類G 佐藤 仁，同 田澤暁子，同 堀内優貴

菜豆：十勝農業試験場 研究部 豆類G 奥山昌隆

ばれいしょ：北見農業試験場 研究部 作物育種G 大波正寿，同 萩原誠司，同 藤田涼平，同 中山輝

そば：中央農業試験場 作物開発部 作物G 黒崎英樹

だったんそば：中央農業試験場 作物開発部 作物G 藤田正平

てんさい：北見業試験場 研究部 地域技術G 池谷聡

りんご，おうとう：中央農業試験場 作物開発部 作物G 内田哲嗣

花ゆり：中央農業試験場 作物開発部 生物工学G 入谷正樹，花・野菜技術センター 研究部 花き野菜G 大宮知

たまねぎ：北見農業試験場 研究部 地域技術G 柳田大介

いちご，かぼちゃ：花・野菜技術センター 研究部 花き野菜G 福川英司

メロン，メロン台木：花・野菜技術センター 研究部 花き野菜G 八木亮治

ながいも，やまのいも：十勝農業試験場 研究部 地域技術G 平井 剛

アカクローバ，シロクローバ，アルファルファ：根釧農業試験場 研究部 飼料環境G 林 拓

チモシー，スミズブロムグラス：北見農業試験場 研究部 作物育種G 藤井弘毅

ペレニアルライグラス，イタリアンライグラス：上川農業試験場天北支場 研究部 地域技術G 佐藤公一

オーチャードグラス，メドーフェスク，ケンタッキーブルーグラス：根釧農業試験場 研究部 飼料環境G 林 拓

とうもろこし（飼料用）：上川農業試験場 研究部 地域技術G 千田圭一，上川農業試験場天北支場 研究部 地域技術G 佐藤公一，道南農業試験場 研究部 地域技術G 宗形信也，根釧農業試験場 研究部 飼料環境G 林 拓，北見農業試験場 研究部 作物育種G 藤井弘毅，畜産試験場

基盤研究部 飼料環境G 戸苅哲郎

種苗の生産：中央農業試験場 遺伝資源部 遺伝資源G 浅山聡